

新構造材料技術研究組合（略称：ISMA）の概要

- 設立年月日：平成25年10月25日
- 理事長：岸 輝雄（東京大学名誉教授）
- 組合員：（39企業1国研1大学）

(株) IHI、アイシン精機(株)、(株)カドコーポレーション、川崎重工業(株)、共和工業(株)、(株)神戸製鋼所、(株)小松製作所、権田金属工業(株)、国立研究開発法人産業技術総合研究所、三協立山(株)、JFEスチール(株)、(株)島津製作所、新日鐵住金(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、住友重機械工業(株)、住友電気工業(株)、セメダイン(株)、(株)総合車両製作所、大日本塗料(株)、(株)タカギセイコー、田中貴金属工業(株)、東邦チタニウム(株)、東邦テナックス(株)、東洋紡(株)、東レ(株)、トヨタ自動車(株)、名古屋大学、(株)日産アーク、日産自動車(株)、日立金属(株)、(株)日立製作所、(株)日立パワーソリューションズ、(株)日立メタルプレジジョン、福井ファイバテック(株)、不二ライトメタル(株)、(株)本田技術研究所、マツダ(株)、三菱ケミカル(株)、三菱自動車工業(株)、(株)UACJ

- 事業費：平成29年度35億円
- 事業の概要：革新的新構造材料等研究開発

○組合設立の目的

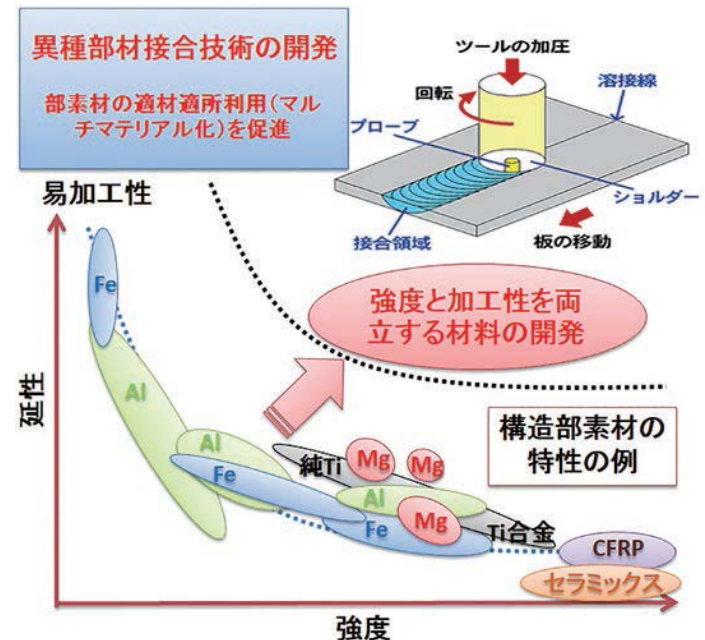
自動車を中心とした輸送機器の抜本的な軽量化に向け、革新的接合技術の開発や、鋼材、アルミニウム材、チタン材、マグネシウム材、炭素繊維及び炭素繊維強化樹脂（CFRP）等、輸送機器の主要な構造材料の高強度化等に係る研究開発を一体的に推進する。

○実用化の方向性

自動車等の輸送機器の燃費改善（省エネ化）には、車両の軽量化が重要となり、構造材料そのものの軽量化も極めて重要となります。そこで、軽量材料の研究開発とともに軽量材料によるマルチマテリアル化を徹底する。

○事業化の目途の時期

事業予定期間の後半（平成30年度～平成34年度）以降には、前半で得られた研究成果をもとに逐次事業化を行う予定である。



● 研究開発体制

新構造材料技術研究組合

プロジェクトリーダー 岸 輝雄

接合技術開発

東レ、神戸製鋼所、新日鐵住金、JFEスチール、マツダ、UACJ、川崎重工、住友電気工業、IHI、日立製作所、日立パワーソリューションズ、日立金属、日立メタルプレシジョン、田中貴金属、産業総合研究所、セメダイン、ISMA本部

革新的チタン材の開発

神戸製鋼所
新日鐵住金
東邦チタニウム

革新的アルミニウム材の開発

UACJ
産業技術総合研究所
神戸製鋼所

革新的マグネシウム材の開発

産業技術総合研究所
川崎重工
三協立山
権田金属工業
住友電気工業
不二ライメタル
大日本塗料
総合車両製作所

革新鋼板の開発

神戸製鋼所
新日鐵住金
JFEスチール

熱可塑性CFRPの開発

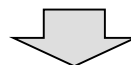
名古屋大学、トヨタ自動車、本田技術研究所、三菱自動車工業、スズキ、東レ、三菱ケミカル、東邦テックス、アイシン精機、小松製作所、共和工業、SUBARU、カドコーポレーション、産業技術総合研究所、東洋紡、効ギセイゴ、日産自動車、島津製作所、福井ファイバートテック、住友重機械工業、IHI、ISMA本部

革新炭素繊維基盤技術開発

産業技術総合研究所

戦略・基盤研究

ISMA本部、神戸製鋼所、新日鐵住金、JFEスチール、産総研、日産アーク



再委託・共同実施

サンスター技研、広島県立総合技術研究所、戸畑製作所、ミリオン化学、アート1、木ノ本伸線、東レエンジニアリング、名機製作所、大成プラス、物質・材料研究機構、宇宙航空研究開発機構、日本マグネシウム協会、茨城県工業技術センター、福井県、石川県、総合科学研究機構、ファインセラミックスセンター、大阪大学、近畿大学、大阪府立大学、名古屋大学、秋田大学、広島大学、東京工業大学、大阪工業大学、東北大学、東京大学、北海道大学、岐阜大学、京都大学、佐賀大学、関西大学、九州大学、岩手大学、長岡技術科学大学、芝浦工業大学、神戸大学、山形大学、静岡大学、金沢工業大学、茨城大学、兵庫県立大学、トヨタテクノクラフト、ヒロテック、東京農工大学、帝京大学、中部大学、岡山大学、豊橋技術科学大学、理化学研究所、高エネルギー加速器研究機構、ナガセケムテックス、横浜ゴム

※例年間違いが多いケース※
(このページは削除してご提出下さい。)

○**理事長名**

→最新になっていない組合が散見されます。

○**組合員数**

→平成29年11月1日時点かどうか再度ご確認ください。

○**事業費**

→平成29年度の数字ですか？

昨年度の数字のままではありませんか？